



志位委員長・岡野さん 新春対談に反響 ケア労働・未来社会の展望・「頭すっきり」「希望がわいた」

「新春対談にふさわしい未来図をしめしていただき、勇気と希望が出てきます」「頭がすっきりと整理され希望がわいた」—本紙1月1日付の志位和夫委員長と岡野八代・同志社大学教授の新春対談(写真)が大きな反響をよんでいます。赤旗編集局には、メール、電話、はがきなど100通近い感想が寄せられています。志位委員長が党旗ひらきのあいさつで紹介した、ケア労働の問題や社会主義・共産主義との響きあいについて触れた感想が多いのが特徴です。一部を紹介し

国のあふべき姿 わややかに深く

丁寧な赤線を引きながら熱心に読んだ、一行一行心にとどめるように読み進めた。今まで気に留めてこなかったことがすっきりと心に届いた。国のあるべき姿、国民に対する姿勢をわかりやすく二人はさわやかに深く語って、何がおかしいのか、何が今求められているのか、コロナの脅威の今を、どのように生きていくのか、難しいことをわかりやすく語られています。頼りにできる人たちの存在のありがたさを感じ、思いながら繰り返し拝読させていただきました。

「五つの提案」で新政権つくろう

楽しく読み終えました。とくに「ケア労働がたいへん粗末に扱われている」「コロナ禍で女性の自殺が…」「保育士は一般職に比べて…」「男女平等で一番大きいのは…」といったことなど、なるほどと思うことが多々ありました。志位氏が「コロナ危機は、私たちのもろいところを…」といったのはその通りだと思います。

共闘の力で、菅自公政権終わらせ、新しい政権をつくる年!



新春対談

同志社大学教授

岡野八代

志位和夫

政治は何のためにあるのかを原点から見据え、新しい政治をつくる年!

す。今年も総選挙の年です。「五つの提案」の実現で新しい政権をつくることで新しい日本ができます。

「ゴールはたぶん「同じ所」に実感

日刊紙を購読して55年近くになるが、今回の新春対談はこれまでの中で一番すがすがしくわかりやすく、一気に読みました。岡野さんからの日常語での問いかけに柔軟に受け答えされるさわやかな志位委員長が発言がとてよかったです。「コミュニケーション」「ケアの倫理」どちらが先と言うのではなく、ゴールはたぶん同じところにあると思いますという岡野発言を実感をもって聞きました。

「涙が出るほどうれしかった」

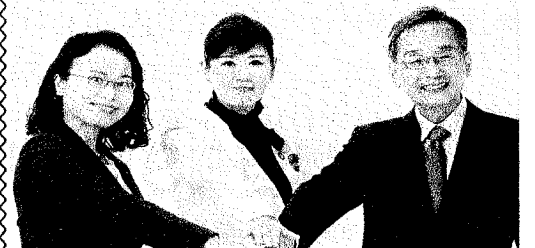
保育士をしている私にとって、「ケア労働」が価値ある仕事で、それが個人の尊厳を大切にすることである、ということに、涙が出るほどうれしかったです。「保育には競争がない」「教育で大事なことは『わかる』喜びをおしえること」。ひとつひとつ身に染みて、明日からの保育をがんばろうと思います。人を大事にすること、人権を常に考えること、大きな声でなくていい、小さな声でも、大勢の人があげることができるようになりたいと思いました。対談ありがとうございました。

声をあげ動けば政治変えられる

コロナ感染が続く中、楽しい気分になれずいたが元気がでた。菅政権には腹立つことばかり。現政権を批判し分析し、「強権政治」ともに説明する能力がない政治は強いようでもろい」という志位委員長

新しい日本をつくる五つの提案

- 新自由主義から転換し格差を正し暮らし家計応援第一の政治
- 憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する
- 覇権主義への従属・屈服外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換
- 地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる
- ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切にし個人の尊厳を尊重する政治



比例東海予定候補
しまづ幸広 = 前衆院議員
もとむら伸子 = 衆院議員
長内 史子 = 32歳

7つの提案

- ケアに手厚い社会
- 人間らしく働ける労働のルールある社会
- 一人ひとりの学びを保障する社会
- 危機にゆとりをもつて対応できる強い経済
- 科学を尊重し国民に信頼される政治が行われる社会
- 文化・芸術を大切に社会
- ジェンダー平等を実現する社会

戦争法廃止 改憲許すな19行動

1月19日 (火曜日)
午前11時~12時
ヤマナカ前にて

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

市民と野党の共同で 来る総選挙での政権交代を